

1 駐車場予約サービス

1-1 駐車場予約サービスの概要

1-2 駐車場予約サービスの利用実績

1-3 広報活動の取組

1-4 利用者アンケートの結果

2 パークアンドライドの取組

2-1 パークアンドライドの取組概要

2-2 広報活動の取組

3 まとめ

1-1 駐車場予約サービスの概要

(第4回協議会資料再掲)

●目的

- ・東京2020大会の開催に当たっては、大会関係車両の安全で円滑な輸送の実現と物流を含めた都市活動の安定との両立を図ることが重要である。
- ・競技会場周辺の交通渋滞や事故等の要因となる駐車場探しによる「うろつき交通」を抑えるため、時間貸し駐車場を管理・運営する事業者と連携し、予約専用駐車場を導入するとともに、利用者に駐車場予約サービスの提供を行う。

●基本的な考え方

- ・観客は、公共交通機関による移動が基本であり、自動車（マイカー）による競技会場周辺までの移動は抑制する。
- ・経済活動への影響を最小限とするため、物流車両や事業関係車両、移動制限があり生活にマイカー利用が必要となる障がい者などについては、円滑に駐車場利用が可能となる環境を整える。

東京2020大会は原則無観客での開催となったが、本取組が観客ではなく物流車両等による駐車場の利用を対象としていたことから計画どおり実施した。

1-1 駐車場予約サービスの概要

(第4回協議会資料再掲)

運用期間

予約専用駐車場の運用期間は、オリンピックの開会式から閉会式まで及びパラリンピックの開会式から閉会式までの期間とする。

大会名	運用期間(開催期間)
オリンピック	2021年7月23日(金)～8月8日(日)
パラリンピック	2021年8月24日(火)～9月5日(日)

※ 開会式以前から競技が開催される東京スタジアム(7月21日から)及び横浜国際総合競技場(7月22日から)については、それぞれの会場の競技開始日からとする。

実施期間

予約制駐車場の実施期間は、各事業者が上記の運用期間の中で設定する。

1-2 駐車場予約サービスの利用実績

駐車場登録実績

○予約専用駐車場は、首都圏22会場の会場周辺にある時間貸駐車場で実施した。

※首都圏22会場：ヘリテッジ9、ベイ8、都外5

○駐車場登録件数 約120件

※予約専用駐車場は、首都圏33会場約570件の駐車場を対象として計画

利用実績

	駐車場登録数	総車室数	利用件数	期間
オリンピック	116	301	603	7月21日～8月8日
パラリンピック	38	80	158	8月24日～9月5日

※駐車場予約サービスは、1車室に対して1日1台で予約受付を行った
なお、予約時間帯は原則24時間としつつ各事業者が任意に設定した
※パラリンピック登録駐車場は、オリンピック登録駐車場と重複している

予約専用駐車場は、首都圏22会場の周辺にある約120件の駐車場を登録して実施し、大会期間中、約760件の利用実績があった。

1-3 広報活動の取組

広報活動

項目	概要	主な実施主体
現地広報	対象駐車場内に看板を設置	駐車場事業者
Web広報	各団体・各社のHPに、駐車場予約サービスサイトへのリンク・バナーを掲載	東京都 駐車場事業者
メルマガ配信	利用者向けにメルマガを配信	2020TDM推進プロジェクト 駐車場事業者
その他	ツイッターによる情報発信	駐車場事業者

取組事例



現地広報
(駐車場設置看板)



Web広報
(バナー)

2020TDM推進プロジェクト メールマガジン

《競技会場周辺における予約制の時間貸駐車場》
 競技会場周辺では、駐車場探しによる「うろつき交通」を抑えるため、大会期間中、一部の時間貸し駐車場が事前予約制となります。配送時など、競技会場周辺の駐車場をご利用の際には、『駐車場予約サービス』をぜひご活用ください。

<https://p-conference2020.btimes.jp/>

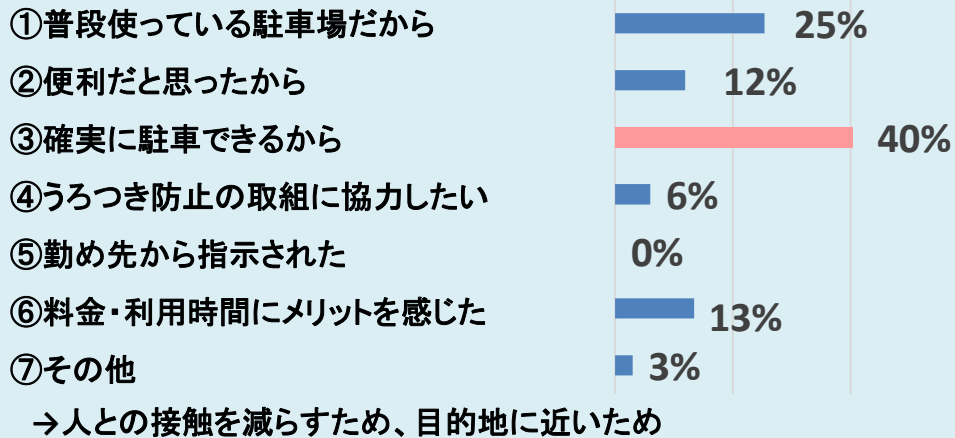
メルマガ配信
(2020TDM推進プロジェクト)

1-4 利用者アンケートの結果

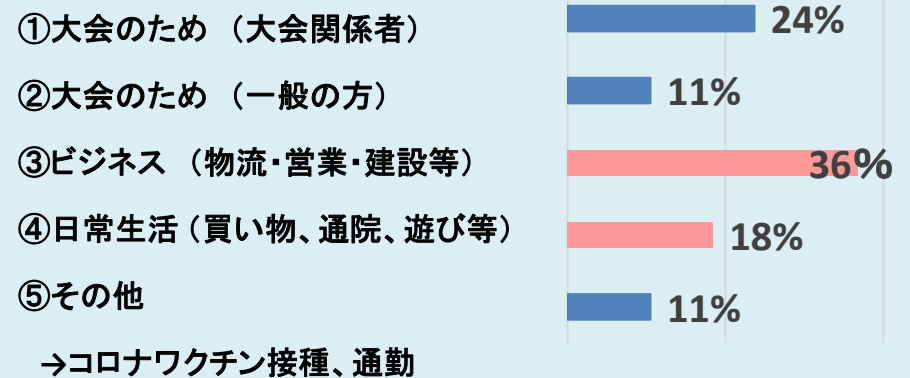
主な回答結果

実施方法: WEBアンケート(予約者へメールにて案内)
実施時期: 2021年9月8日~9月20日
配信数: 240 回答数: 38(回答率15.8%)

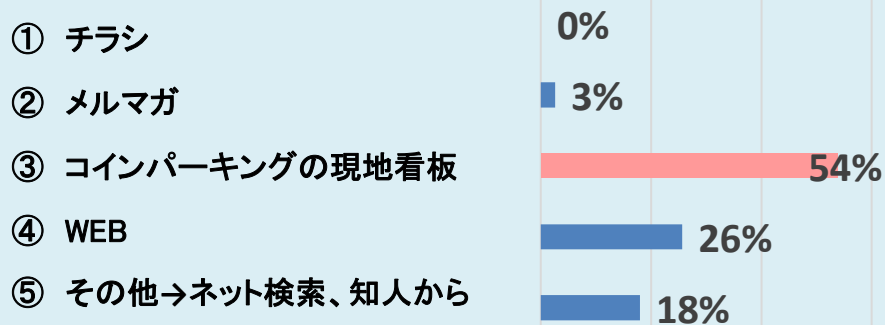
【利用した理由】



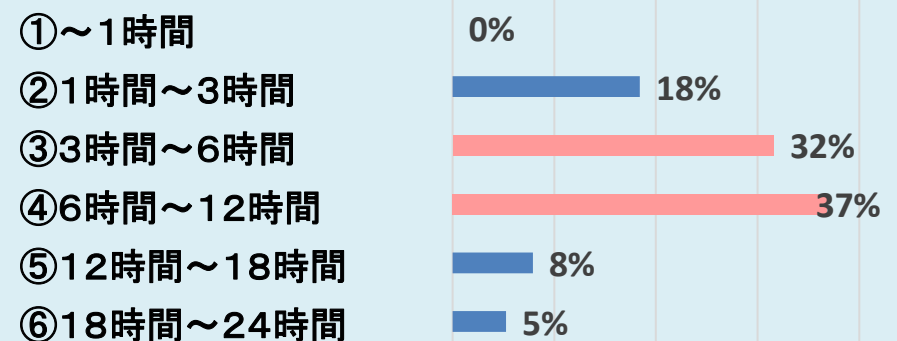
【利用目的】



【知ったきっかけ】



【利用時間】

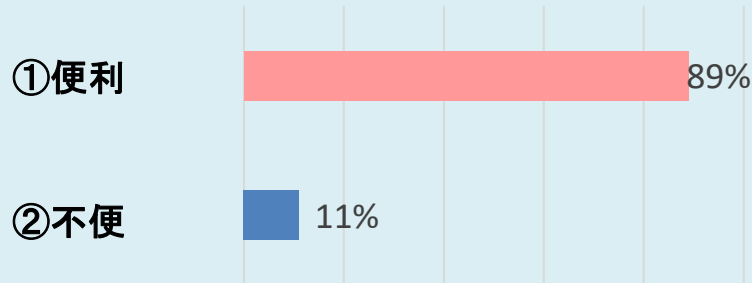


1-4 利用者アンケートの結果

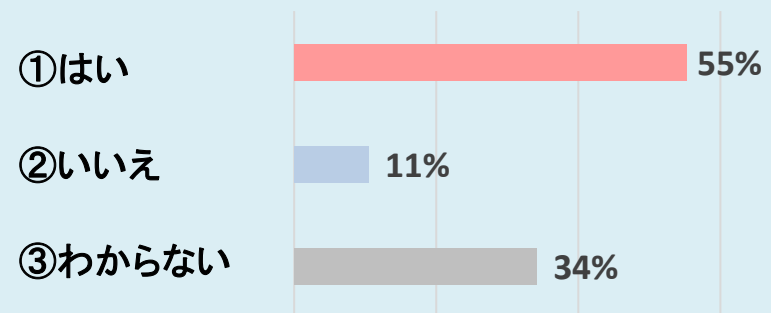
主な回答結果

実施方法: WEBアンケート(予約者へメールにて案内)
実施時期: 2021年9月8日~9月20日
配信数: 240 回答数: 38(回答率15.8%)

【利用した印象】



【会場周辺の円滑な交通の実現に繋がったと思うか】



- 利用した理由として、「確実に駐車できるから」との意見が約4割あった。
- 利用目的は、「ビジネス」や「日常生活」によるものが多数を占めた。
- 利用者がこの取組を知ったきっかけは、「事前の現地告知看板」によるものが約5割あった。
- 利用時間は、「3時間~6時間」、「6時間~12時間」が多数を占めた。
- 利用した印象は、「便利」との意見が約9割あった。
- 本取組が会場周辺の円滑な交通の実現に繋がったと思うとの意見が約5割あった。

1-4 利用者アンケートの結果

主な意見・感想

- 非常に良い取り組みだったと思います。普段「タイムズのB(駐車場予約サイト)」の対象外の駐車場だったので非常にありがたかったです。
- 初めて利用しましたが、スマホからの申し込みもわかりやすく、確実に確保できたので助かりました。
- 確実に駐車できる事による安心感があった。確実に駐車できるところが欲しいときに非常に有益であった。通常時でもやってほしいサービス形態だと思います。
- 結果的に予約することで安心して利用できたが、他に殆ど利用者がなく全て空いていた。予約して確実に最大料金を支払うのだから、普段よりお得にしてもらえると良かった。
- 無観客で実施したのなら駐車場の制限はいらなかったと思う。不便でした。
- 告知が足りなかったように思える。(その分すぐに予約できてよかったが、周囲に知ってる人がいなかった。)

2-1 パークアンドライドの取組概要

(第4回協議会資料抜粋)

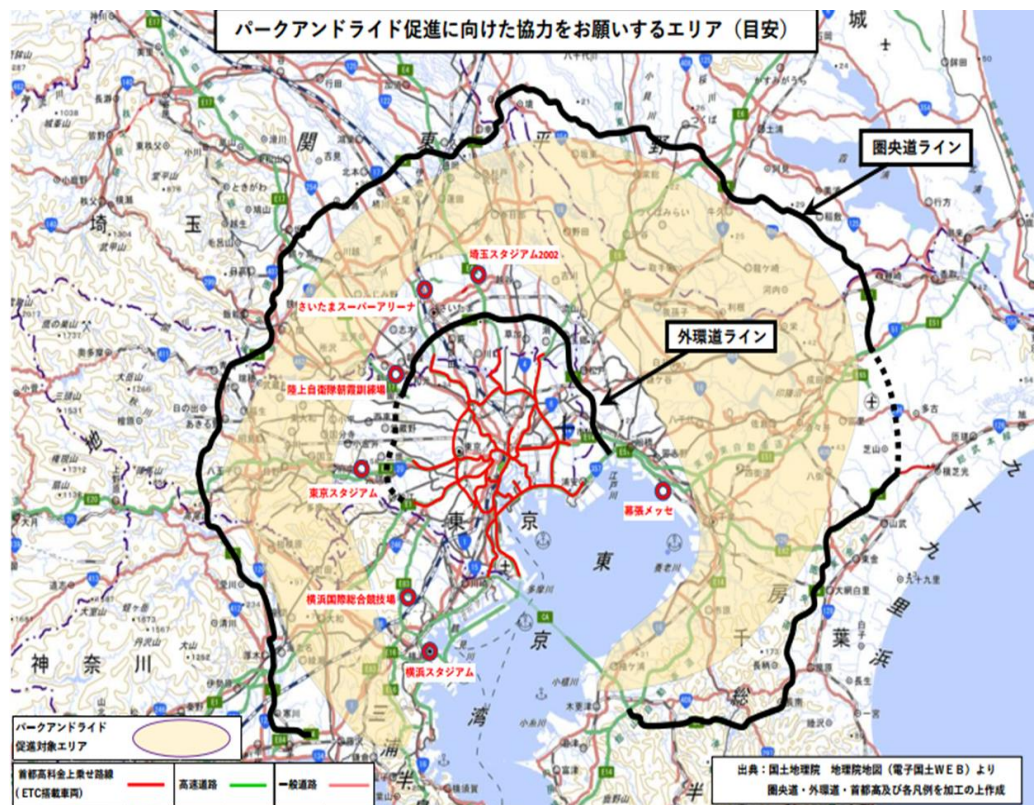
1 目的

東京2020オリンピックパラリンピック大会期間中の一般道における道路交通対策の一つとして、自動車による都心方向への移動を抑制するため、自動車から鉄道に乗り換えて移動してもらいパークアンドライドを促進する。

2 パークアンドライドの推進

- ・ 圏央道と外環道の間エリアを対象。
- ・ 利用促進期間は大会開催期間
(7/23～8/8, 8/24～9/5) とする。
- ・ 対象エリア内の候補駐車場を駐車場事業者がリストアップ。

⇒ 対象駐車場リストを駐車場予約サービスのサイトに掲載しパークアンドライドの利用を促進。



対象エリアイメージ

2-2 広報活動の取組

パークアンドライド 促進の取組

- ・駐車場予約サービスのトップ画面から「パークアンドライド駐車場紹介ページ」にアクセスできるようにした。
- ・紹介ページに、パークアンドライド対象駐車場リスト(約140か所)を掲載。
- ・紹介ページには、大会期間中、一定程度のアクセスがあった。

東京2020大会交通対策に関する
駐車場予約サービス

駐車場のご利用期間は終了いたしました。
ご利用明細書のダウンロードは9月30日までとなっております。必要の際は期日までにダウンロードをお願いいたします。

都心部の主要スタジアム周辺の
駐車場予約サービス

ご予約の確認はこちら

日本語 English

駐車場対策協議会では会場周辺の道路交通対策の一環として、郊外におけるパークアンドライド利用の促進もおこなっております。取組については[こちら](#)
↑紹介ページへのリンク

駐車場予約サービスサイト
トップ画面(抜粋)

東京2020大会交通対策に関する
駐車場予約サービス

パークアンドライド促進の取り組みについて

東京2020オリンピック(パラリンピック大会期間中の一掃道における道路交通対策の一つとして、自動車による都心方向への移動を抑制するため、自動車から鉄道に乗り換えて移動してもらうパークアンドライドを促進しています。郊外でのパークアンドライドにご協力をお願いします。

対象エリア

圏央道と外環道の間で、都心部以外の会場(東京スタジアム、埼玉スタジアム等)の配置を考慮しつつ、都心に直結する鉄道路線のある鉄道駅周辺

パークアンドライド促進に向けた協力をお願いするエリア(目安)

都心部ライン
外環道ライン

対象の駐車場一覧 (PDF)

パークアンドライド駐車場
紹介ページ

広報活動

項目	概要	実施主体
Web広報	紹介ページへのリンク掲載	東京都、駐車場事業者
メルマガ配信	利用者向けにメルマガを配信	駐車場事業者
その他	ツイッターによる情報発信	駐車場事業者

3 まとめ

◆得られた知見と課題

- ・駐車場予約サービスは、大会期間中、約760件の利用実績があった。また、利用者アンケートでは、「ビジネス目的の利用」や「確実に駐車するための利用」が多くみられた。このことから、会場周辺の「うろつき交通」の抑制に対して、本取組の一定程度の有効性を確認することができた。
- ・今回の駐車場予約サービスでは、運営元が異なる複数の駐車場を一元化して運用することを行ったが、大会期間を通して大きなトラブルもなく運営ができ、利用者からも「便利である」との評価を多く得られた。
- ・駐車場予約サービスへの各駐車場事業者による登録にあたっては、各事業者にとって時間貸を予約専用化へと仕様を変更することで生じる経費等の負担を軽減するなど、本取組に参画しやすい仕組みの整備が重要である。
- ・利用者が駐車場予約サービスを知ったきっかけは事前の現地告知看板によるものが多かった。一方、幅広い広報は、観客利用などの新たな需要を呼び込む可能性もあり、ターゲットを絞った戦略的な広報を行っていくことが重要である。
- ・パークアンドライド駐車場の紹介ページには、大会期間中、一定程度のアクセスがあり一般利用者の関心があることがうかがえた。

◆今後の方向性

- ・東京2020大会はコロナ禍の下での開催ではあったが、今回の駐車場対策の取組から得られた知見や課題等は、今後の大規模イベント等が実施される際の近隣駐車場対策等の検討に活かしていく。